

藤沢

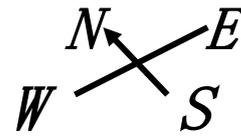
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2023年11月1日

第354号



主な記事

- ・ COP28につながる活動を
- ・ 六会ふるさとまつりに出展
- ・ 調査で出会った野鳥：ヤマガラ
- ・ 海の情報

<http://econet2015.sakura.ne.jp>
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

FAX 0466-87-4922

原発を止めた樋口英明裁判長

「高校生にも分かるような論理でないと最高裁で勝てるわけないでしょ。」2014年5月に福井地裁で関西電力大飯原発運転差し止め判決を下した樋口裁判長は、現在原発を止めるための講演活動をしている。映画「原発を止めた裁判長」が9月に藤沢のFプレイスで上映され講演が行われた。

彼は当たり前前の考えで原発を止めたのである。すなわち地震国家の日本にあって、原発の耐震性に注目し、その耐震性が極めて低いことを指摘した。地震計は1995年の阪神・淡路大震災後、全国に地震計が置かれ、2000年頃地震観測網が整備された。地震の大きさはマグニチュード(M)、強さは震度で表し震度7が最高。地震の強さの単位で他にガルという加速度を表す単位があり、原発の耐震設計基準(基準地震動)はガルで表される。概ね震度7は1500ガル以上、震度6強は830~1500ガル程度など対応している。東日本大震災はM9で2933ガルだったが、福島第1原発の基準地震動は600ガルで軽く超えてしまった。改正された建築基準法では一般住宅も震度6強から震度7にかけての地震に耐えられるよう建築することを命じている。

当時、大飯原発の基準地震動は700ガル、それ以上の地震動をもたらした地震は2000年以降10回以上ある。

「原発事故のもたらす被害は極めて甚大、その被害は我が国の存続にかかわるほどである。だから原発には極めて高度な安全性が求められる。地震大国日本では高度の耐震性が求められるが、原発の耐震性は極めて低い。よって原発の運転は許されない。」という単純明快な判決をくださった。

また、樋口氏は「豊かな国土とそこに国民が根をおろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなる事が国富の喪失であると当裁判所は考えている。」と述べた。

当時「原発は人類と共存できない」と、藤沢エコネットで署名を集め、市議会に請願し受理されたのだが、この国富論を、その時の市議会で陳述したことを感慨深く思い出す。

(青柳節子)



湘南台ファンタジアで迫力のパレード
「湘南なぎさ蓮」による阿波踊り

調査で出会った野鳥：ヤマガラ

藤沢市が10年に1度実施する「自然環境実態調査」の鳥類部門に参加することにしました。開始は10月で、毎月1回所定のルートを経由して1年間かけて、出現する野鳥を観察記録するものです。藤沢でバードウォッチングを行っているグループに参加し、見様見真似の4年間、どうにか身近な野鳥の観察ならできかなと一大決心の末のことです。

私の担当ルートは、選ばれた市内13か所の地域から、引地川親水公園に沿った林の中のルートと決まり、調査説明会に参加し10月の半ばに下見と第1回目の調査を終えました。調査はいわゆるラインセンサス、同じルートを同じ速さで歩き、見聞きした野鳥を記録する方法です。熟練者が行えば10年前の記録とも比較でき、相対的ながら生息する種や生息数の実態を把握することが可能とのこと。そこで重要なことは、希少種の発見よりは普通に出現する種に焦点をあてることで、環境の変化を明らかにできることだそうです。

私の調査ルートは小高い丘の林の中ですが、なんと整備した舗装歩道がありました。普段、林の中に入ることはありませんのでこんな歩道があることを知りませんでした。それでも、いわゆる山道が半分以上です。そこは子どもの頃の故郷の山でキノコ狩りしたことを思い起させます。

さて、始まったばかりの今回の調査、藤沢の自然環境を守る上では意義あることです。今後も継続することを大切にしましょう。市民が自然に接し、実態を理解し自然に親しむことで、行政が行う環境保全の施策に声をあげて反映されるようになるとよいと考えます。



←ヤマガラ、調査開始直前、高い木からこのコンクリートの壁に降りてきました。5分ほどこの壁で採餌していました。



←「樹上を飛び交うエナガ」
山の中にある神社の境内で、エナガの群れに囲まれてしまいました。すばやく枝から枝へ動きまわり、撮影初心者の私にはこんな写真がやっと。 (菅谷芳雄)

六会ふるさとまつりに出展

10月13日、14日いつも会議室をお借りしている六会公民館のお祭りに「気候危機アクション藤沢」として初参加しました。

展示は、「藤沢気候時計」の展示と「1.5℃に抑えるために、使える炭素予算の残りはあと何年でしょうか？」とクイズラリーに出題。(答え ①10年 ②5年半 ③3年)……答えは②

3月25日に小糸小学校で行われた「断熱材ワークショップ」の紹介。省エネしよう！太陽光発電・風力発電・バイオマス発電・水力発電・地熱発電・水素発電などの再生エネルギーに変えよう！

石炭・石油・天然ガスによる火力発電をやめよう！

現在注目の水素だが、外国で褐炭を燃やし取り出す、水素の7倍ものCO₂を出してつくる「グレー水素」。そのCO₂は彼の地に埋めて水素をマイナス253℃に冷やして液化し、これまた化石燃料船で運ぶ「ブルー水素」。

政府は10月11日、東京証券取引所に「非化石燃料の債券市場」を新設。日本でオーバーしたCO₂量をニュージーランドの余ったCO₂枠を債券で買うことで良しとする国内版。そうでもしないと輸出産業界の炭素排出量ゼロにできないらしい。

日本国内で創り出す「グリーン水素」。つくる時も使うときもCO₂ゼロの「グリーン水素」によるエネルギーチェンジが本物であるのか注目している。

来場者の「自分は何をしたら良いの？」の素朴な疑問に、こんな熱い想いを語りながらの公民館まつりでした。 (野田美雪)

COP28 につながる活動を

～非政府アクター(ノンステートアクター)の役割～

今年 11 月 30 日～12 月 12 日にアラブ首長国連邦(UAE)・ドバイで開催される国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議(COP28)の開催が迫っています。

COP28 の最大の焦点は各国が定めた温室効果ガス排出削減目標(NDC)の世界全体の進捗状況を確認することです。2023 年は、パリ協定で規定され 5 年毎に行われる「グローバル・ストックテイク(各国が定めた NDC の世界全体の進捗評価)」の第一回目の実施年にあたり、各国が削減目標(NDC)を決める基準になります。

UAE は産油国ですが脱炭素戦略の加速を打ち出し、アブダビ国営石油会社は 7 月 31 日、温暖化ガス排出量ゼロの目標年度を 5 年前倒して 2045 年までに実質ゼロにすると発表(石油資源は燃やすのではなく、医薬品・生活物資の資源として有効使用にシフト)。

UAE と 2 つの再生エネルギー団体は 10 月 30 日に 2030 年までに再生可能エネルギー設備容量を 3 倍にするよう各国政府に働きかけています(10/30 ロイター)。日本の NDC:2030 年度に 46%削減(2013 年度比)を 2021 年 4 月に決定(同年 10 月 22 日に提出)は見直しが迫られるでしょう。

来日した COP28 議長のスルタン・ジャベル氏は、アブダビ国営石油会社の最高経営責任者で UAE の産業・先端技術相も務めており、「1.5℃目標を射程に入れることが私の戦略だ」と強調。気候変動対策では「**民間を巻き込んだ行動を**」とノンステートアクター(政府以外の組織:企業や自治体、NGO、市民団体など)が世界の気候変動対策に大きな影響力を発揮することを求めています。

このままでは各国 NDC 目標の総計は 1.5℃の目標達成に至らず、国が適切な計画を作り全体が動き出し、実現の見通しが立つのを待っていたのでは間に合わないからです。

みなさんは、気候変動対策は国が決定してくれないと何も進まないと考えていませんか？

しかし、国際社会で決定されてきた気候変動対策を率先して導いてきたのは、実は国家ではなく、企業や自治体、NGO、市民団体などが主体の「ノンステートアクター」です。

鳥取県では大学生 2 人と高校学生 1 人が県の COP28 派遣事業に選ばれ、ドバイに派遣、再生可能エネルギーの活用など、県の取り組みを展示ブースで発表、各国の若者との意見交換を行います。COP28 への道はドバイに行くことだけでしょうか？

地域で地球温暖化対策、気候変動対策を実行することは COP28 と連動した重要な活動です。

我国で 2050 年ゼロカーボン宣言している自治体は 991、RE100 加盟企業が 390 社に達しています。

北九州市は市内の温室効果ガス排出削減目標を掲げるだけでなく、アジア地域への貢献目標も掲げて、アジア地域で 2050 年までに、2013 年度の市内の温室効果ガス排出量の 150%以上に相当する排出量の削減を目指しています。

兵庫県では 2020 年度から「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」を開催。青森県でも昨年度から「青森県から日本・世界の環境・エネルギー問題を考える地元高校生向けワークショップ」開始。これらは 2050 年の脱炭素社会の実現に向け、その担い手となる若手人材の育成を目的とした研修プログラムで、その企画・運営に地球環境戦略研究機関が携わっています。

藤沢市が気候非常事態宣言で「気候変動の危機的況を市民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報共有し、ノンステートアクターとしての決意を示し、協働して気候変動対策に取り組みます」と表明し、地球温暖化対策実行計画が改定されました。2050 年ゼロカーボンに向けて実行あるのみとなっています。

最近の動向として、札幌市から始まった「気候市民会議」が広がり県下では川崎市、厚木市、神奈川県主催による神奈川気候市民会議 in 逗子・葉山、横浜市青葉区で取り組みが行われています(自治体と環境政策対話研究所、地球環境戦略研究機関、地球温暖化対策推進協議会、市民団体などの協働事業)。

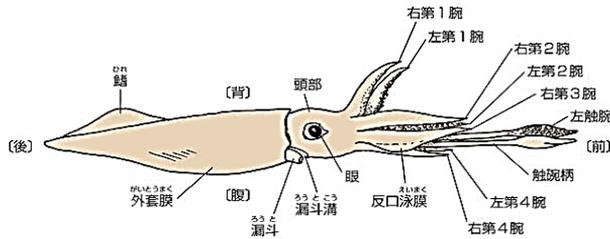
2050 年の脱炭素社会をどんな未来にするのか、市民一人ひとりが自分事として考え、ゼロカーボンの実現をめざし協力して行動する時ではないでしょうか。

(宮地俊作)



海の情報

写真はアオリイカ類の甲、大きい方が通常の大
きさ（2014年採取）小さい方が今朝葉山海岸
でのものです。（貝殻のような甲はイラストの外
殻膜の中に入っています）



最近はこのような小さくて薄いものをよく目
にします。これは海水の酸性化の影響ではない
か？アルカリ性の海水が酸性化するとカルシウム
の形成が必要な生き物に影響が出るといわれてい
ます（プランクトン・サンゴ・甲殻類・貝類等々）

つまり、イカが育っていない？（もちろん漁獲
高も減少）カキの養殖業者からも同じような悲痛
な話を聞いていました。

"いつも見ている地元の海を注意深く観察する
"この様な事が益々大切になっています。

◆秋の観察会 11月11日(土)です、是非来てね！

お申し込みは 0466-50-0117

(武本匡弘)

藤沢気候時計
2023年10月14日現在
このまま何もしなければ

地球温暖化1.5℃上昇まで
残りはあと **5年と281日**

1.5℃に抑えるために炭素予算(使えるCO2の限度)
世界 2,433億トン
藤沢 1,349万トン

2030年までにCO₂を46%削減
2050年までにゼロカーボン(実質0)
脱炭素都市藤沢を

気候危機アクション藤沢

ECONET INFORMATION

▲『福島からあなたへ2023』

講師 武藤類子さん (福島原発告訴団団長)

11月11日(土) 14:00

会場：カトリック藤沢教会 (藤沢駅 徒歩7分)

資料代：500円 学生は無料

主催：「福島からあなたへ2023」武藤類子さんの

お話を聴く会：080-3217-0817 おかべ

▲放射能を浴びたX年後Ⅲ

Silent Fallout (サイレント・フォールアウト)

乳歯が語る大気汚染 ドキュメンタリー映画上映

11月25日(土)13:30- 参加費500円

市民会館第1展示ホール

主催：ピースリレー・ふじさわ 090-9239-0864

▲平和を創る道の探求

～ウクライナ戦争と台湾での緊張を超えて～

講師 孫崎亨さん

12月9日(土)13:30 藤沢市民会館

参加費 1000円

主催 ふじさわ・九条の会

090-9239-0864(島田)



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

【ゆうちょ銀行 加入者名 藤沢エコネット

口座番号 00240-9-46501】

◆事務局会議 11月4日(土)10:00-

六会公民館

《編集後記》ウクライナ戦争が長引く中、また
もやイスラエルとハマスが戦闘に突入したのは
10月7日。死者が9000人もとのこと。民間
人の犠牲が広がりガザでは病院が負傷者であら
れ、医療が逼迫し安全な場所はないと言う。何
の罪もない住民が犠牲となっているのは人道主
義に反すると停戦を呼び掛けるデモがロンドン
やローマ、各地で起きているという。日本はど
ういう態度か？。痛ましい戦争を何とか避けたい
のが願いだ。(H)